

## 〈第30回〉 白坪8町内子ども会

### 「お観音様祭り」「お地蔵様祭り」「ラジオ体操」 育成会会長 大森みどり 役員：藤田、永江、園村、江良、西

令和3年7月9日(金)17時から、子ども会6年生代表、保護者&子どもによりお観音様とお地蔵様の掃除をしました。当日昼間は雷、暴風の悪天候でしたが夕方からは曇りで天気も落ち着いてきましたので予定通りきれいに掃除することが出来ました。堂の周り、掃除用水は井戸水を使用しました。

7月10日(土)19時～19時半にお観音様祭りを行いました。お参り後はお菓子を渡して終了しました。



お参りに来た子ども達

(暖簾作成、文字入れ…愛護委員 永江さん)



7月24日(土)19時～19時半にお地蔵様祭りを行いました。お参りに来てくれた子ども達は、地域の方々もお参りするため、距離をあけて並んで待ってくれました。

◎お地蔵様よだれ掛け

・愛護委員 永江さん作成

←◎お供え物のせ

・子ども達の手作り

お祭り終了後：交換した古い暖簾・よだれ掛けは、お寺さんに預けました。→



## 夏休みイベント 「ラジオ体操」

前期7月26日(月)～30日(金)、後期8月23日(月)～27日(金)の予定でしたが、新型コロナウイルスが急激に感染拡大したため、実際は7月26日、27日、28日の3日間のみ実施しました。

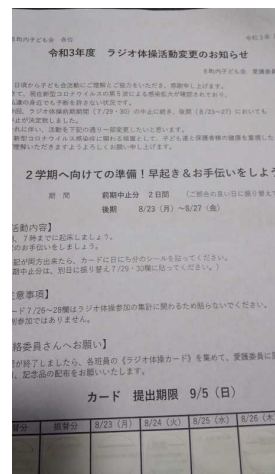
### 【新型コロナウイルス感染防止対策】

1 ラジオ体操の時は、マスクの有りに関係なく、

- ① 会話をしない。
- ② 朝の挨拶はお互い挙手で『おはようございます』の合図を出す事 などの申し合わせました。

2 並び方

- ① 対面や円陣にはしない。
- ② 前に保護者1人のみが立ち、子ども達が互いの距離をとれているか確認後、ラジオ体操をスタートしました。



### 予定変更の通知



未就学児も兄弟の近くでラジオ体操をしました (大木の長い影で皆涼しく体操が出来ました)




広々とした公園で、十分間隔を開けて、マスクをしてのラジオ体操

終了後は8町内独自の【鬼滅カード】に鬼滅シールを貼りました。

出席シールを貼るため皆無言で、距離を取って並んで待つ行動は、子ども達自ら行いました。

ラジオ体操が中止になった分は急きょ「早起き&お手伝いカード」に置き換えました。早起き、お手伝い両方出来たら、その日の欄にシールを貼ります。鬼滅カード、鬼滅シールは共に愛護委員の永江さんの手作りです。

カード 提出期限 9/5 (日)						
振替分	振替分	8/23 (月)	8/24 (火)	8/25 (水)	8/26 (木)	8/27 (金)
						

ラジオ体操に参加した日(早起き手伝い出来た日)のシールを剥がし、カードの同じ日付の所に貼っていく



子ども達の中にはカードとシールを大事にして使いたくないということで、別の既製のカードを使う子どももいました。そのような場合はそのカードに別の参加の印を押しました。

役員の皆様やその他協力して下さった会員の皆様ありがとうございました。お陰で無事行事を終える事が出来ました。

新しい生活様式を取り入れ、子ども会の存続及び発展とコロナ禍の収束を願って、二学期からも精進して参ります。これからも皆様のアイデア、ご協力等をよろしくお願いします。

#### 【事務局から】

事務局長 白石和典

- ① 1学期の3つの活動をまとめて報告して頂きありがとうございました。コロナ禍でもあり、色々感染対策をしながらの活動は大変だったと思います。白坪8町内子ども会は昨年度から、「コロナだからしない、できないではなく、今出来る活動を自治会とも相談してやっている。少人数制を活かし、子どもの気持ちを大切にしたい取組を行っている。」と、コロナ禍でも感染リスクに的確に対応しながら子ども達のために積極的に活動してこられました。本年度もそのスタンスが引き継がれているようです。子ども達もそのことを理解して、コロナ対応の行動がとれていることに感心します。
- ② ラジオ体操中止の分を早起き&お手伝い活動に変えるなど臨機応変に対応し、また、行事変更の連絡等も丁寧に文書で出され、きめ細かな子ども会運営がなされていることが素晴らしいです。
- ③ お観音様やお地藏様の祭りの前に、きれいに掃除が出来ましたね。地域にきれいに整備された井戸があって、立派な手押しポンプが備え付けてあるようですが、素晴らしい施設ですね。皆さん大切にそして盛んに活用されていることでしょう。お観音様やお地藏様と共に地域の宝としていつまでも守り続けてください。
- ④ ラジオ体操も素晴らしい環境で出来ますね。鬼滅の刃のカードもシールも手作りだそうで、素晴らしいアイデア、素晴らしい技術に感動します。あまりにも立派なので「使いたくない」という子どもの気持ちも分かります。これからも子ども達のために素晴らしい活動を続けてください。